

クラウドサービスの利用とセキュリティ

◎拡大するクラウドサービスと情報漏えい

近年、クラウドサービスの高機能化が急速に進んでおり、従来、ソフトウェアのインストールが必要だった作業が、クラウドサービスに接続するだけでどのパソコンでも作業できるようになったり、社内に専用サーバーを設置していた業務がクラウドサービスで提供されるようになるなど、様々な業務でクラウドサービスが進出しています。

一方、クラウドサービスはインターネット上にデータを保存するという特性上、ちょっとした不備により情報が漏えいしてしまうという危険性をはらんでいます。

利用するサービスの特性や管理方法をきちんと把握し、セキュリティ事故の防止に努めましょう。

■ IPA「情報セキュリティ10大脅威 2023」

前年 順位	「個人」向け脅威	順位	「組織」向け脅威	前年 順位
1	フィッシングによる個人情報等の詐取	1	ランサムウェアによる被害	1
2	ネット上の誹謗・中傷・デマ	2	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	3
3	メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	3	標的型攻撃による機密情報の窃取	2
4	クレジットカード情報の不正利用	4	内部不正による情報漏えい	5
5	スマホ決済の不正利用	5	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	4
7	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	6	修正プログラムの公開前を狙う攻撃(ゼロデイ攻撃)	7
6	偽警告によるインターネット詐欺	7	ビジネスメール詐欺による金銭被害	8
8	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	8	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	6
10	インターネット上のサービスへの不正ログイン	9	不注意による情報漏えい等の被害	10
圏外	ワンクリック請求等の不当請求による金銭被害	10	犯罪のビジネス化(アンダーグラウンドサービス)	圏外

出典:IPA(独立行政法人情報処理推進機構)「情報セキュリティ10大脅威 2023」

☆クラウド設定項目のガイドライン

総務省では、令和4年10月31日に「クラウドサービス利用・提供における適切な設定のためのガイドライン」(*)を公表しています。

これは、クラウドサービスを利用する際の設定ミスに起因する障害や情報漏えいといった事故が多発しており、設定不備が不正アクセスの原因ともなっている現状を受け、クラウドサービスの適切な設定の促進を図り、安全安心なクラウドサービスの利活用を推進するため、推奨されるセキュリティ対策を指針として示したものです。

「クラウドサービスの設定」に特化し、サービス利用側、提供側両方の内容が記載されていますので、利用する側だけではなく、サービスを開発し提供している事業者の方も是非参考にして下さい。

※ 総務省 https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01cyber01_02000001_00149.html
ガイドライン本編 https://www.soumu.go.jp/main_content/000843318.pdf
ガイドラインの概要 https://www.soumu.go.jp/main_content/000843319.pdf